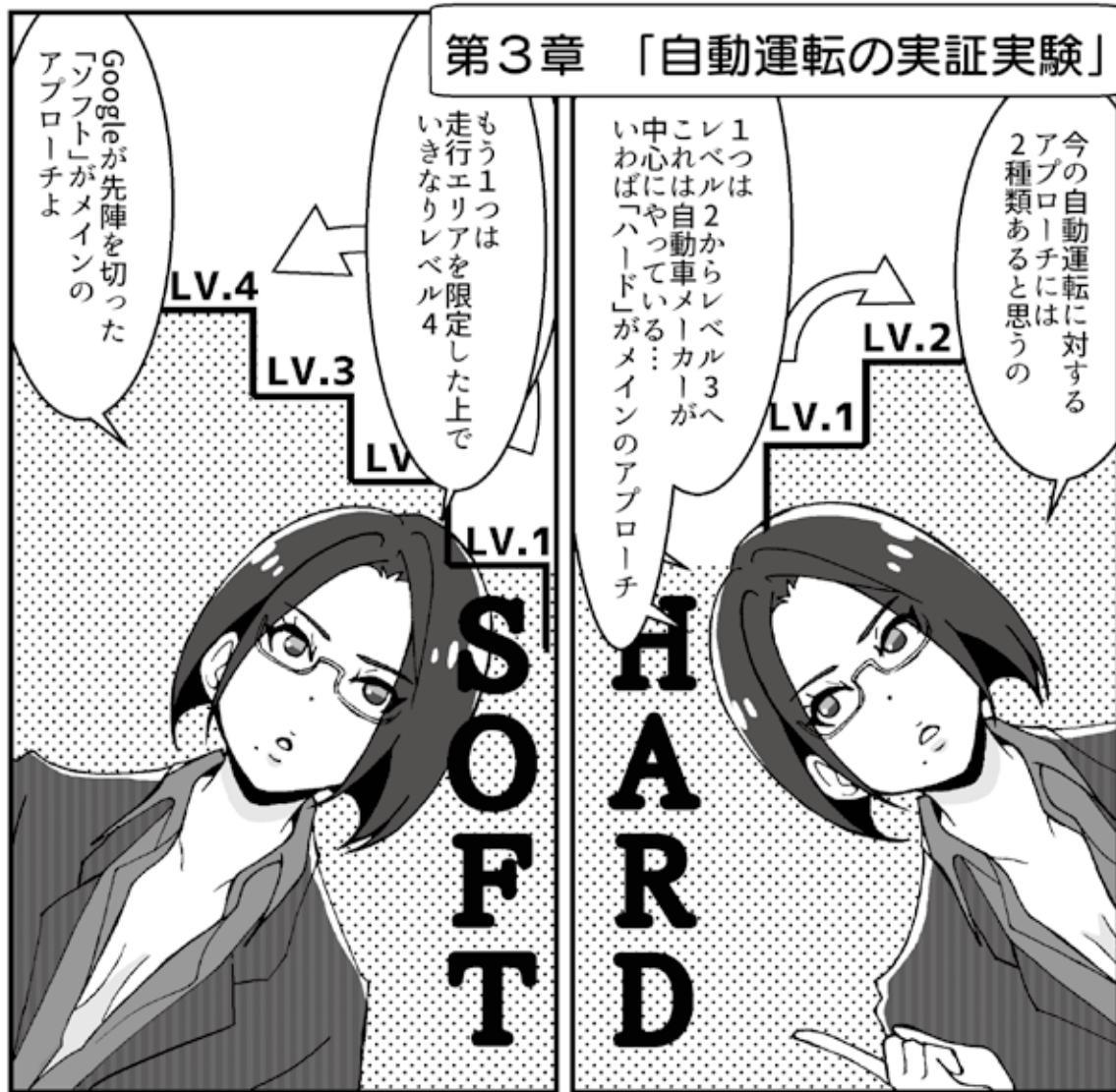


第3章 「自動運転の実証実験」





Auto
ware
LV
4

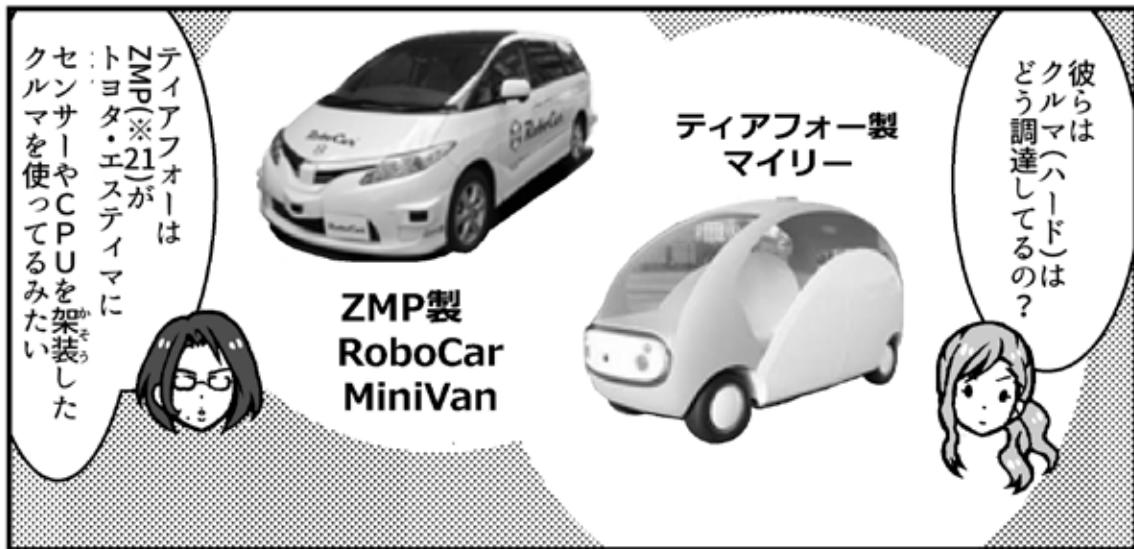
2018年5月トヨタは未来創生ファンド（トヨタ自動車、三井住友銀行が出資するベンチャーキャピタル。配車アプリの「全国タクシー」等に出資している）を通じてティアフォーに出資。出資額は不明

さらに市街地や中山間地域での近距離移動を目的とする完全自動運転の小型電気自動車（EV）を開発するなど、自動運転技術の開発と実証実験を推進している

(※19) 株式会社ティアフォード
名古屋大学発ベンチャー企業
オーブンソースの
自動運転ソフトウェア(OS)
Autoware(オートウェア)を開発し
2017年12月に日本で初めて
一般公道における
遠隔制御型自動運転システムの
実験を実施し
レベル4の自動運転に成功した

(※20) 先進モビリティ株式会社は2014年6月に東京大学生産技術研究所次世代モビリティ研究センターを母体として設立された大学発ベンチャーワークス。





※株式会社ZMPホームページより引用



(※²²) 2016年春
世界で最初のヴァレリオ州シオノにおいて
公共交通機関で自動運転車が
使用された。

Navyaが開発した
ARMAと呼ばれる2台の自動走行バスが
人口3万3千人のシオノという街の
限られたエリアで運行された。

最大乗車人数は15人で
手動操作も遠隔操作も可能という
(自動運転走行車レベル4)
そのまま走行し続けることができる。



観光地

45km/h↓

郊外でバスの運行を営む
イスの大手バス会社PostBusと
契約を結ぶことにより
今後は同社が
小規模のNavyaのバス・システムも
管理する予定。

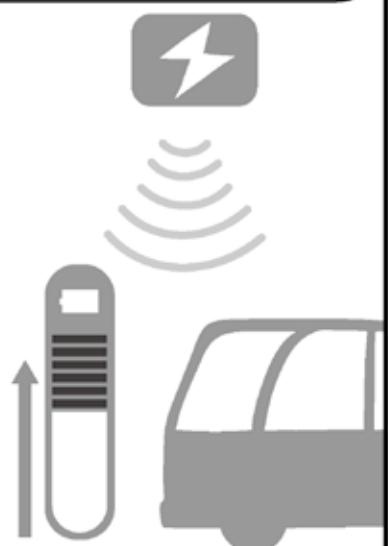
大規模な交通網を持つ
PostBusのバス・システムとは異なり、
ARMAはシオノ市街の
観光地エリアのみを
以下のように走行する。

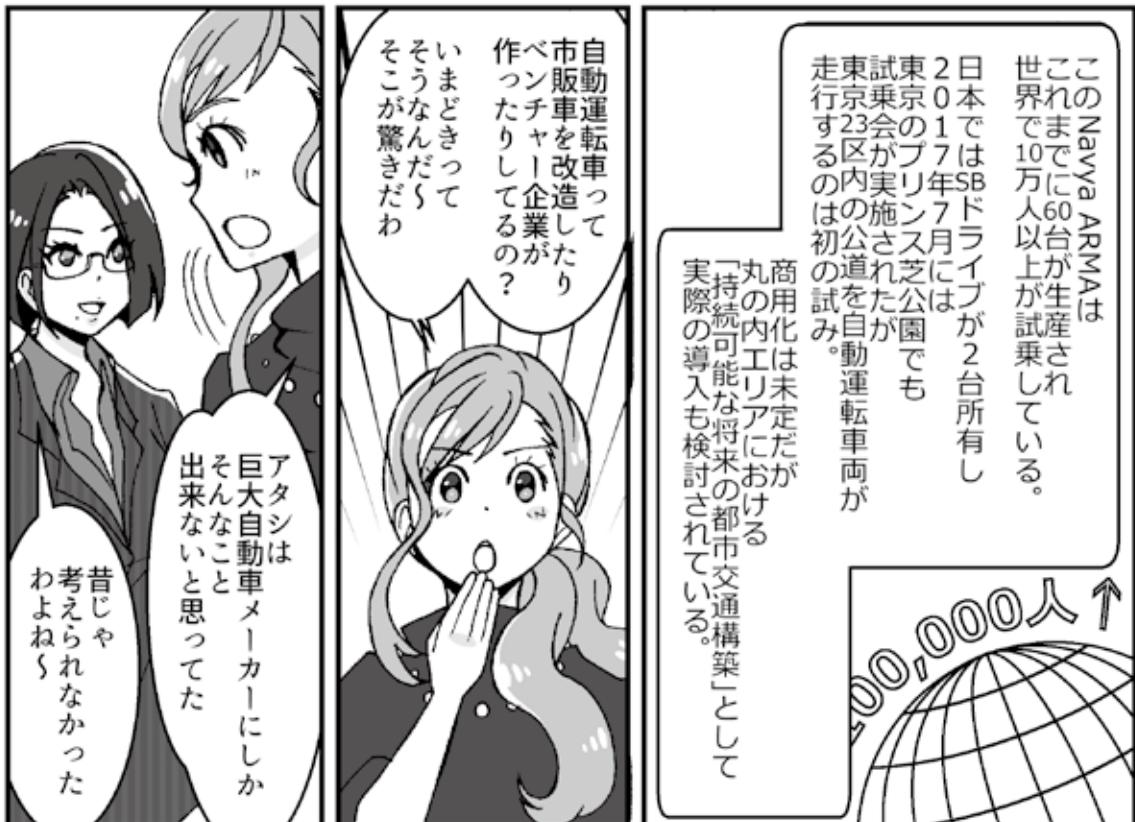
同社は今後も大学と
研究開発における業務提携を
続けていくとある。
このバスの走行用ソフトウェアを
提供しているのは
スイス連邦工科大学ローザンヌ校の
卒業生2名によって設立された
スイスのベンチャー企業BestMile

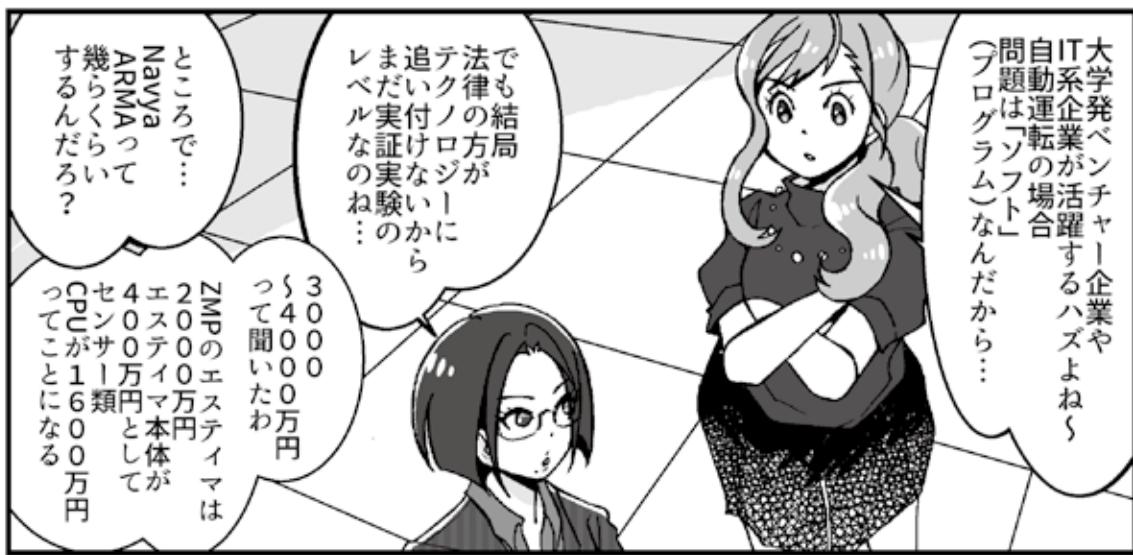
何か問題が起つた際は
遠隔ステーションのモニターから
ARMAに新しい指示が送られ
バスはいわば遠隔操作で
そのまま走行し続けることができる。

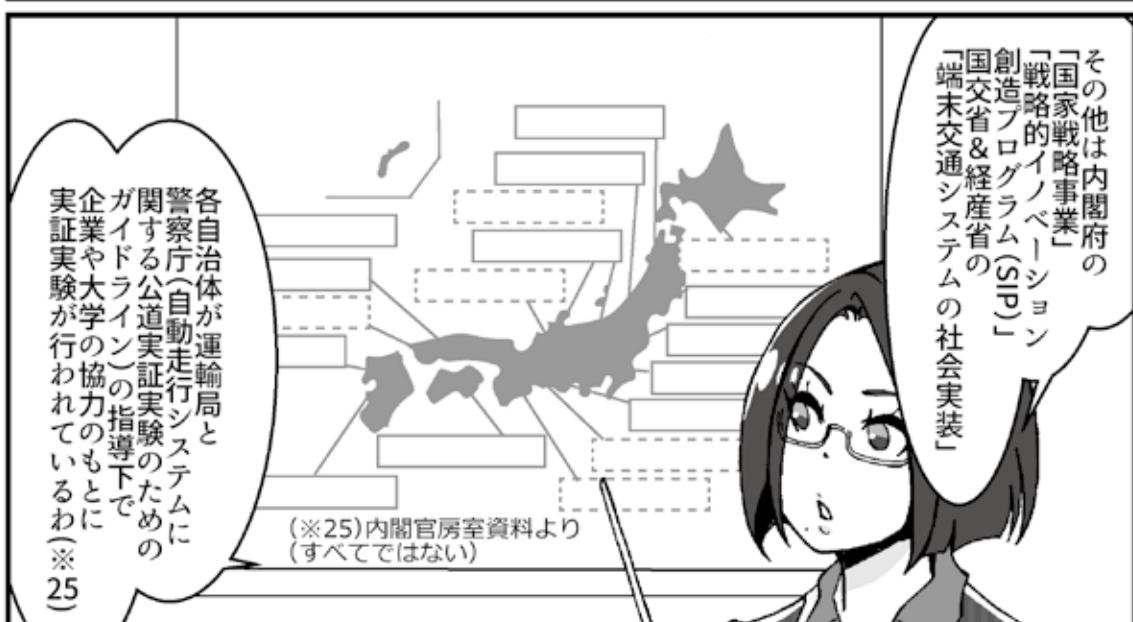
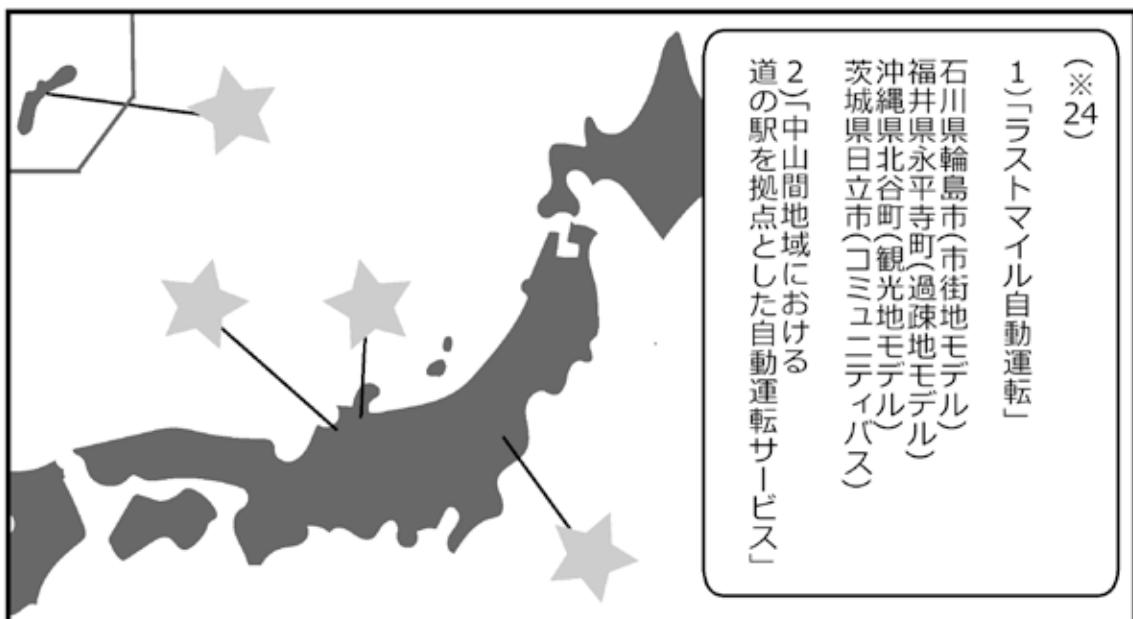
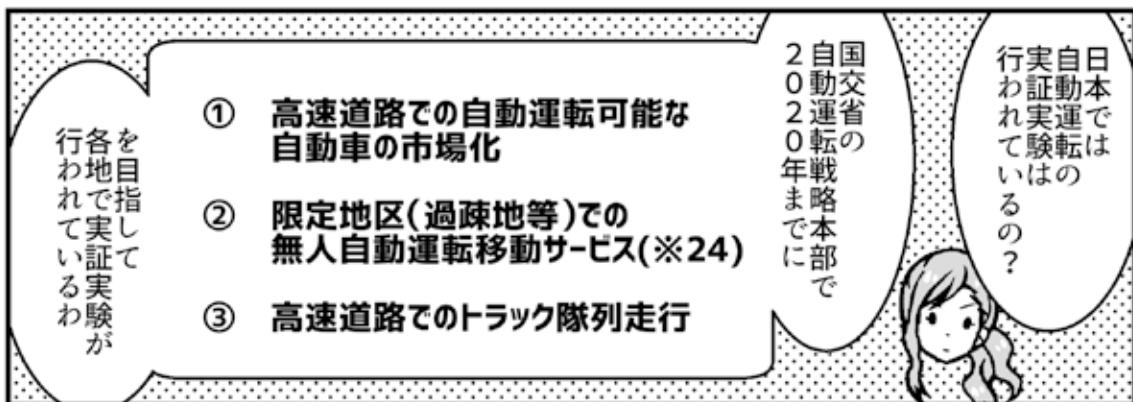
また
実際にルートを
走行することによつて
より多くの情報が追加
されていくようにな
プログラムされている。

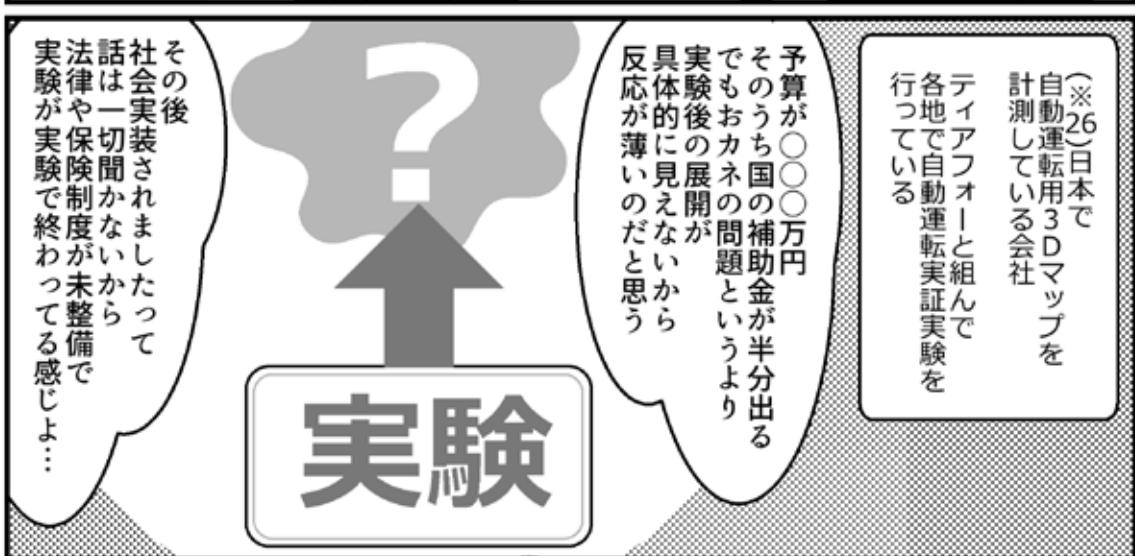
現在利用可能な
あらゆる種類のセンサーが
搭載されており
最長24時間走行可能。
また
ARMAは完全な電気自動車で
ワイヤレス充電が可能
位置の誤差は2cm以内といつ正確さ。

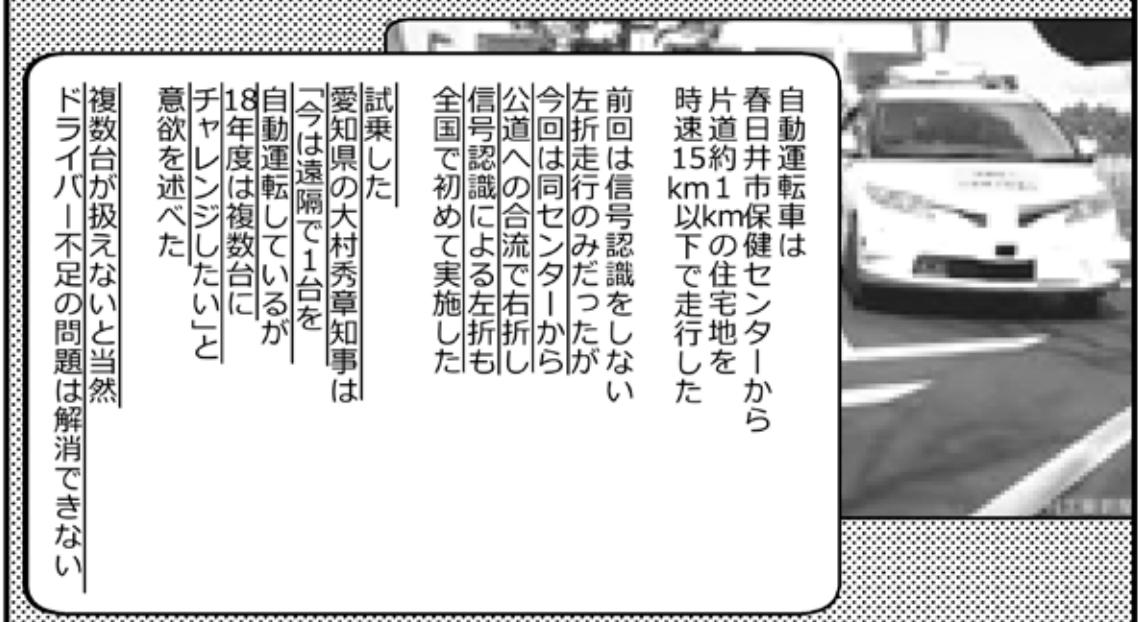
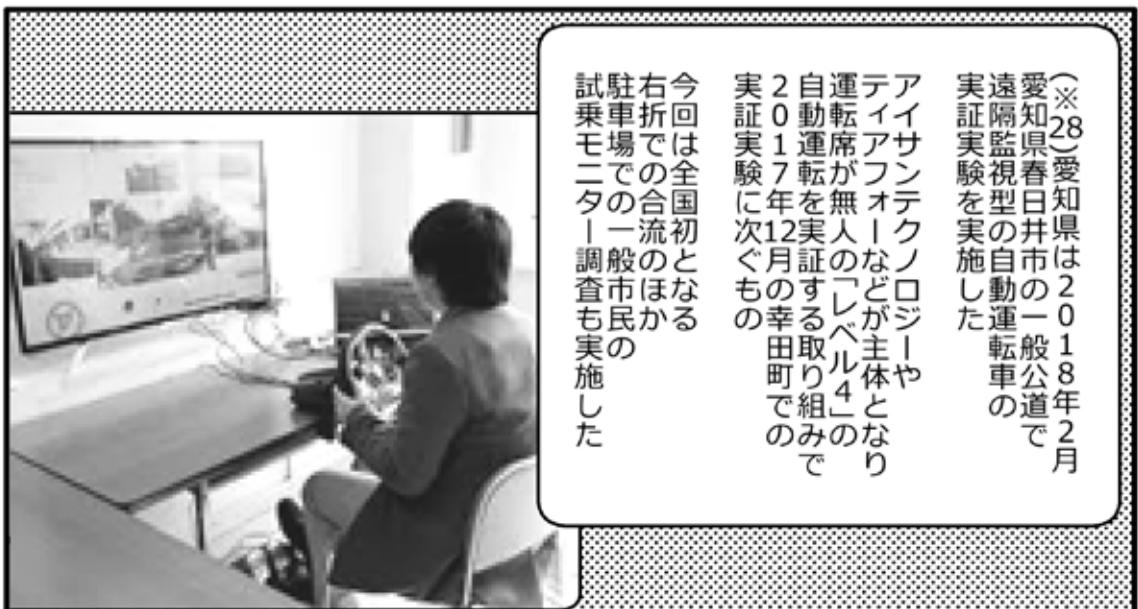


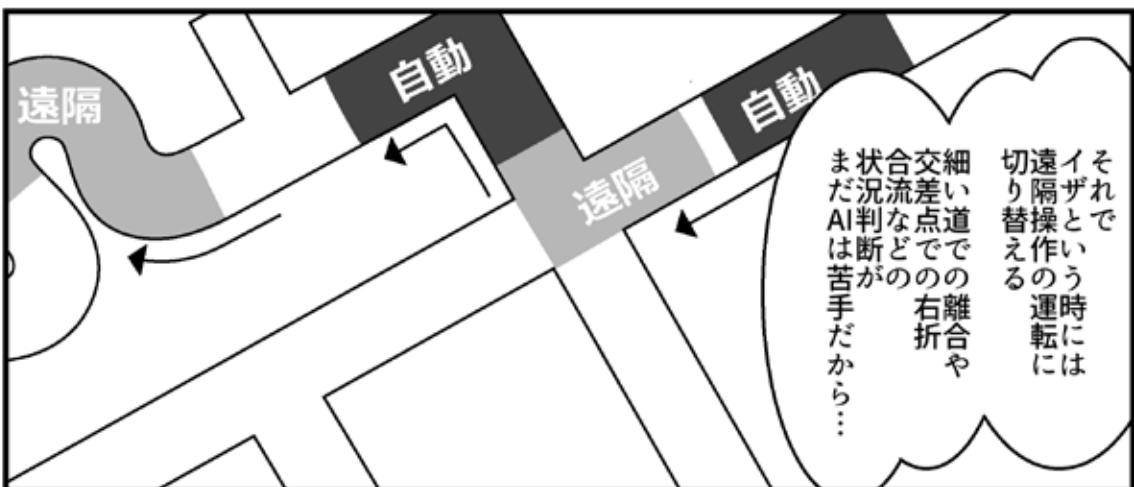


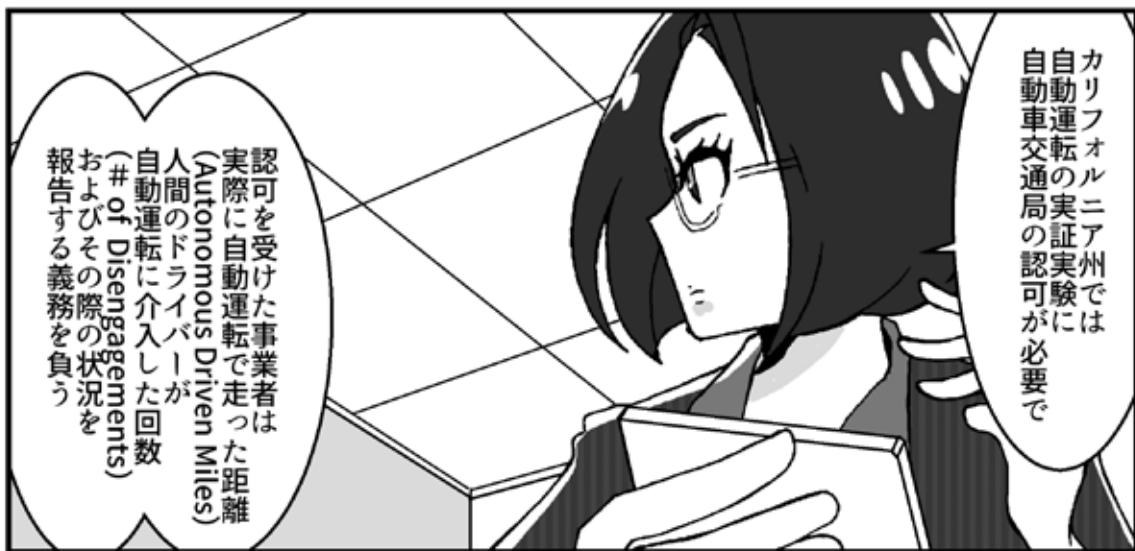












認可を受けた事業者は、実際に自動運転で走った距離(Autonomous Driven Miles)を算出する。人間のドライバーが自動運転に介入した回数(# of Disengagements)およびその際の状況を報告する義務を負う。

カリフオルニア州では自動運転の実証実験には自動車交通局の認可が必要で

トヨタは
何處へ行つた?

Waymo	5,128	635,868	124
BMW	638	638	1
ford	197	590	3
NISSAN	146	4,099	28
GM	54	9,776	181
Telenav	41	243	6
Delphi	17	3090	178
Drive.ai	8	445	58
Valeo	7	21.7	3
Tesla	3	550	182
Daimler	2	673	336

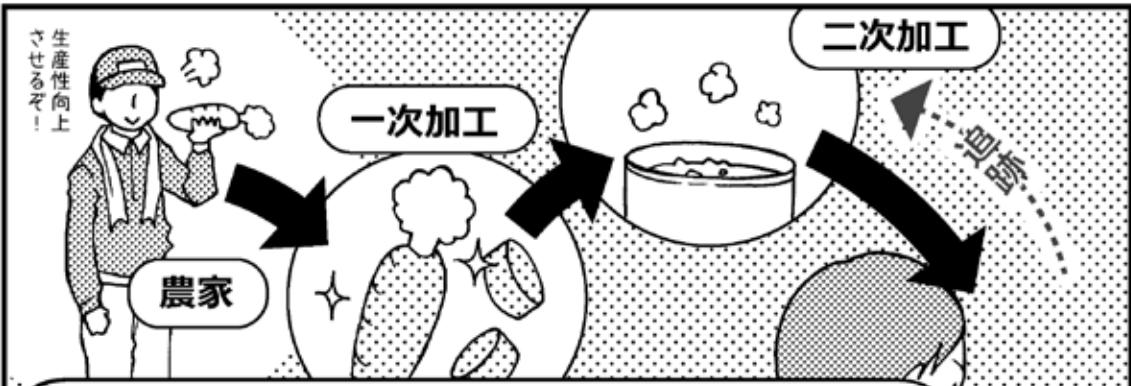
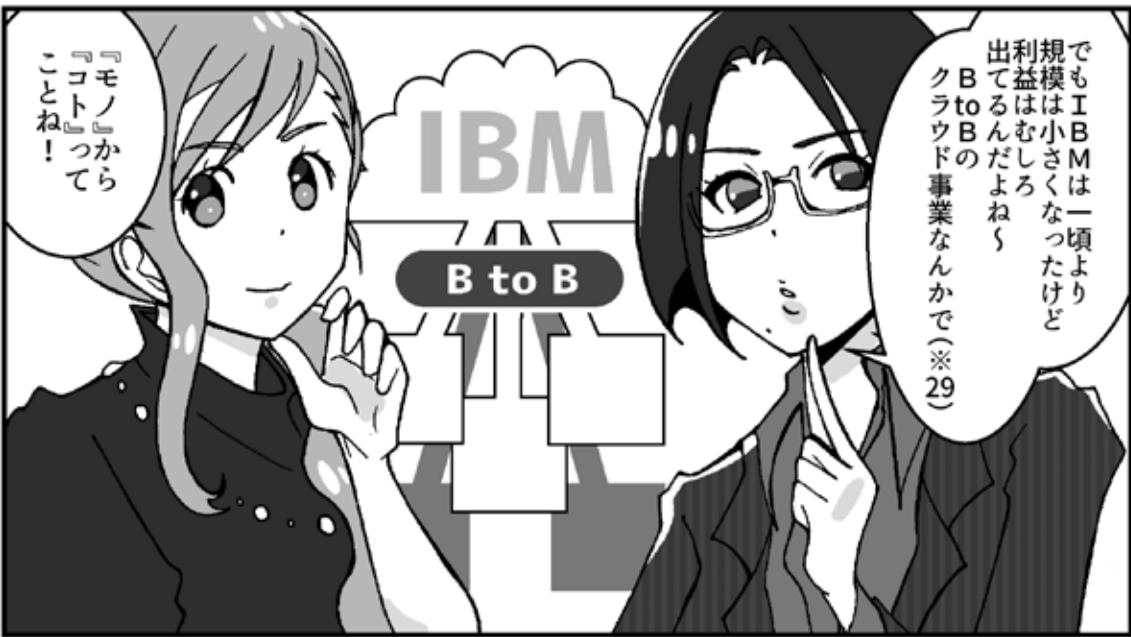
で、そのレポートが
Webで公開されているわ



実証実験の距離数

ネットで検索する限り
テストコインでの実験がメインみたいね
ウバの死亡事故後、
2018年4月に始めるらしい
今の中國を進めての実証実験に着手するに





これにより農家は農業生産性を向上させるための投資が行えるようになる。

サまたこのブロックチェーンを用いた
サ参加する企業には金融機関も含まれ
サステナビリティが
好条件で融資や信用付与を提供していく。

何時何処で食品が汚染されたか？
特定することが出来る
生産者や公衆衛生当局による
汚染拡大防止対策に役立てる
ことが出来る。

ブロツクチエーン技術を活用することで、食品のトレーサビリティがより容易になり、生産地から店頭に至るまで、食品を迅速に追跡することができる。

(※29) 例えば IBM は
Wal-mart など食品関連の大手企業と協力して
ブロックチェーン技術を
グローバルな食品サプライチェーンに
導入しようとしている



